



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社 ビーマップ
 コード番号 4316 URL <http://www.bemap.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 文則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 大谷 英也

TEL 03-5297-2181

四半期報告書提出予定日 2019年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	673	32.2	51		61		51	
2019年3月期第2四半期	509	15.7	60		60		64	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 51百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 64百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	16.05	15.90
2019年3月期第2四半期	20.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	925	792	78.2
2019年3月期	1,032	733	65.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 723百万円 2019年3月期 670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	1.3	90	11.1	90	8.4	65	3.2	20.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,227,000 株	2019年3月期	3,225,900 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,013 株	2019年3月期	972 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,225,473 株	2019年3月期2Q	3,224,573 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、2019年11月5日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用環境の好転が見られ、緩やかな回復の兆しを見せたものの、新興国の景気下振れ、米中摩擦や中東・東アジアなど地政学的リスクが懸念されており、先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主な事業領域でありますIT関連業界におきましては、IT需要は堅調に推移しましたが、人手不足が深刻化し、受注獲得競争も激化しております。また、インバウンド需要につきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控えて成長が見込まれておりますが、中長期では不透明な状況にあります。

当第2四半期におきましては、全ての事業分野において前年同期比で増収増益となりました。特に、ワイヤレス・イノベーション事業において大型案件を計上するなど売上総利益を押し上げ、人員増等に伴う販売費および一般管理費の増額を吸収し営業利益を計上いたしました。更に、持分法適用会社である株式会社MMSマーケティングが好調に推移したことにより、持分法による投資利益を上乗せし、経常利益が増加いたしました。

当社グループの当第2四半期の業績は、売上高673,639千円（前年同期比32.2%増）、営業利益51,493千円（前年同期は営業損失60,077千円）、経常利益61,651千円（前年同期は経常損失60,082千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益51,772千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失64,484千円）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

また、各事業分野のセグメント利益又は損失（営業利益又は損失、以下同）は、全社費用51,870千円を含まない額であります。

① ナビゲーション事業分野

ナビゲーション事業分野においては、鉄道など社会インフラ提供事業者向けのシステム開発・サービス提供を行っております。

当事業分野においては、従来より株式会社ジェイアール東日本企画向けに時刻表や経路探索技術の提供などを行っており、これに加えて、交通系ICカードに関わる交通費精算クラウドサービス「transit manager」をリリースし、当事業分野における第二の柱に成長させるべく注力しております。当第2四半期においては、消費税改訂に伴うシステム更新などが順調に推移し利益率が改善いたしました。

この結果、当事業分野の売上高は108,831千円（前年同期比42.6%増）、セグメント利益は34,943千円（前年同期比248.7%増）となりました。

② ワイヤレス・イノベーション事業分野

ワイヤレス・イノベーション事業分野においては、無線LAN等の社会インフラ間のハブとなるシステム開発・サービス提供を行っております。

無線LANの各種システム・サービスについては、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社（NTTBP）との協力により、通信・鉄道・流通や自治体をはじめとする無線LANスポット提供事業者に対して事業展開を進めております。保守運用案件については予定通り進捗し、新規構築案件については、大型の構築案件のほか中小規模案件についても堅調に推移しました。これに加えて、当社独自の新商品・サービスであるAir Compass Media（車載サーバ）やIgniteNet製品及びクラウド管理システムの販売に注力し成果を上げております。

この結果、当事業分野の売上高は447,485千円（前年同期比31.0%増）、セグメント利益は74,710千円（前年同期比247.8%増）となりました。

③ ソリューション事業分野

ソリューション事業分野においては、上記以外の映像配信システム事業、TVメタデータのASP事業、コンテンツプリント事業、O2O20事業・MMS事業等を行っております。

その中でもO2O20事業・MMS事業等の新規事業を当事業分野の主要な柱とすべく重点的に取り組んでおります。当第2四半期においては、持分法適用会社である株式会社MMSマーケティングが昨年11月以降取り組んでいる流通系金融会社向けのプロモーション業務への支援が比重を増しております。当事業分野においては、採

算の低い案件も含まれている一方、将来に向けた投資として取り組んでいるものも含まれており、慎重に取捨選択のうえ利益率の改善に取り組んでおります。

この結果、当事業分野の売上高は117,322千円（前年同期比28.0%増）、セグメント損失は6,288千円（前年同期41,800千円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、前連結会計年度末比106,924千円減少の925,213千円となりました。また負債総額は前連結会計年度末比165,936千円減少の132,981千円、純資産は前連結会計年度末比59,012千円増加の792,231千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日の前期決算発表時点から変更ありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

当第2四半期において、全事業分野とも売上高が前年同期を上回り、売上総利益、営業利益が前期より改善いたしました。現時点においては、第3四半期は苦戦が見込まれるものの、第4四半期を中心にワイヤレス・イノベーション事業での構築案件が続いていること、ソリューション事業でのMMS事業も当期を通じて受注見込みであること、ナビゲーション事業は計画通りの進捗にめどが立っていることなどから、3期連続で黒字計上する見通しであります。今後、人員の成長分野へのシフトとともに固定費の削減に努めることで、通期での業績予想達成を目指します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	296,773	439,183
売掛金	588,415	317,478
仕掛品	5,902	20,857
原材料	4,895	4,070
その他	16,639	17,897
流動資産合計	912,626	799,487
固定資産		
有形固定資産	19,527	18,655
無形固定資産	8,097	7,043
投資その他の資産	91,885	100,027
固定資産合計	119,511	125,726
資産合計	1,032,137	925,213
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,038	57,319
未払金	63,758	19,222
未払法人税等	22,575	15,608
役員賞与引当金	7,400	-
その他	42,836	26,549
流動負債合計	284,607	118,699
固定負債		
資産除去債務	12,763	12,838
繰延税金負債	1,547	1,444
固定負債合計	14,310	14,282
負債合計	298,918	132,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	930,028	930,497
資本剰余金	11,951	12,420
利益剰余金	△268,954	△217,182
自己株式	△2,068	△2,119
株主資本合計	670,955	723,615
新株予約権	56,505	62,790
非支配株主持分	5,757	5,825
純資産合計	733,219	792,231
負債純資産合計	1,032,137	925,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	509,457	673,639
売上原価	291,842	333,994
売上総利益	217,614	339,644
販売費及び一般管理費	277,691	288,150
営業利益又は営業損失(△)	△60,077	51,493
営業外収益		
受取利息	552	505
持分法による投資利益	-	9,193
雑収入	26	489
営業外収益合計	579	10,189
営業外費用		
支払利息	-	31
持分法による投資損失	584	-
営業外費用合計	584	31
経常利益又は経常損失(△)	△60,082	61,651
特別利益		
持分変動利益	1,416	-
特別利益合計	1,416	-
特別損失		
投資有価証券評価損	5,305	-
特別損失合計	5,305	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△63,972	61,651
法人税、住民税及び事業税	572	9,914
法人税等調整額	△118	△102
法人税等合計	453	9,811
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,425	51,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	67
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△64,484	51,772

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,425	51,840
四半期包括利益	△64,425	51,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,484	51,772
非支配株主に係る四半期包括利益	59	67

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△63,972	61,651
減価償却費	3,464	3,205
株式報酬費用	15,571	6,627
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,110	△7,400
受取利息	△552	△505
支払利息	-	31
投資有価証券評価損益(△は益)	5,305	-
持分法による投資損益(△は益)	584	△9,193
持分変動損益(△は益)	△1,416	-
売上債権の増減額(△は増加)	211,824	270,937
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,828	△14,129
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,563	△90,718
未払金の増減額(△は減少)	△22,981	△45,367
その他	△5,846	△18,114
小計	68,478	157,023
利息の受取額	552	505
利息の支払額	-	△31
法人税等の支払額	△5,991	△16,216
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,039	141,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△362	△447
無形固定資産の取得による支出	△1,780	-
貸付けによる支出	△320	△200
貸付金の回収による収入	1,172	1,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,290	584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	80,000
短期借入金の返済による支出	-	△80,000
自己株式の取得による支出	-	△51
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,219	595
新株予約権の発行による収入	4,926	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,145	543
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,894	142,409
現金及び現金同等物の期首残高	197,826	196,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	265,721	339,183

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に事業推進本部・経営管理本部を置き、包括的な戦略を立案し、事業計画を展開しております。従って、当社は事業推進本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ナビゲーション事業」、「ワイヤレス・イノベーション事業」、「ソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ナビゲーション事業」：交通関連、移動体向けのインフラ提供事業

「ワイヤレス・イノベーション事業」：無線LAN事業

「ソリューション事業」：画像配信システム事業、TVメタデータ関連事業、O2O2O事業、MMS事業、コンテンツプリント事業

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ナビゲーション 事業	ワイヤレス・ イノベーション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高	76,305	341,521	91,630	509,457	—	509,457
セグメント利益 又は損失(△)	10,021	21,477	△41,800	△10,300	△49,776	△60,077

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ナビゲーション 事業	ワイヤレス・ イノベーション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高	108,831	447,485	117,322	673,639	—	673,639
セグメント利益 又は損失(△)	34,943	74,710	△6,288	103,364	△51,870	51,493

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。